

やさき

高次脳機能障害を正しく知って!

ひまわりの家がオープン

この4月、山崎町段にある古民家を改装し、高次脳機能障害を持つ人が集まれる場所ができました。名前を「ひまわりの家」といいます。社会復帰のための訓練を行う場としてカフェも運営しています。

代表の佐原美津子さんは、「カフェの接客などを通して、コミュニケーション能力をつけ、社会復帰へのきっかけにしてほしい。高次脳機能障害を正しく理解してもらえるよう活動していきたい」と、熱い想いを語ってくださいました。



古民家の雰囲気を活かし、改装は自分たちで行いました。とても落ち着く空間になっています

NPO法人
高次脳機能障害ピアサポート

ひまわりの家

●営業日は

☆毎週水～土曜日
午前10時～午後4時

日曜日は自由解放して勉強会などを予定
※展示品や雑貨販売品なども募集!

●お問い合わせは

Tel:65-9205まで

障がいについての相談もお気軽にどうぞ

こうした活動を通して、この障がい者が社会や地域に正しく理解され、本人や家族の安心につながるよう願っています。

(山崎支部 森井裕矢)

6月2日(土)に、室内楽コンサートを開催したところ、約60名の参加があり、家族や地域と交流するとてもいい機会になりました。

高次脳機能障害は、交通事故や病気などで脳に損傷を負ったことで、記憶や言語、感情に後遺症が残る。その症状も多岐にわたります。また、外見上は健康に見られることが多く、自覚症状も少ないため、周囲に誤解されやすい「隠れた障がい」とも言われています。

いのちのみや

「ふれi公園」でふれあい 東市場藤まつりに350人



来年の藤が今から楽しみです

ムコーナーや参加者全員でのビンゴ大会など、大勢の参加で会場は賑わいました。
当日は「母の日」で、子どもたちがお母さんやおばあちゃんへカーネーションをプレゼントするサプライズも…。

5月13日(日)、東市場自治会で「第1回東市場藤まつり」が行われ、会場となる「ふれi公園」に東市場のみなさん350人が足を運びました。自治会役員を中心に、各種団体(女性委員会、老人会、消防団、子ども会、ボランティア等)が協力し、飲食コーナーをはじめ、ゲームコーナーなど、大勢の参加で会場は賑わいました。



休憩所や藤棚、簡易トイレ等整備された「ふれi公園」。公園は県道8号加美栄栗線沿い(南中学校近辺)にあります。当日は天候にも恵まれ最高の一日に…

「藤まつりを通じて、ふれi公園を見てもらえたことが何よりも収穫」と大坪津義自治会長。各種団体が連携を図りながら、まつりの準備や運営等進めていたことは、今回の大きな成果と言えるのではないだろうか。これから東市場では、ふれi公園が住民の憩いの場となるよう整備を進められます。

(本部・一宮支部 波多野好則)